

[概要]

本研究では、アニメ『氷菓』の舞台となった岐阜県高山市におけるアニメ聖地巡礼者の誘客とその効果を筒井（1999）が注目した内発的発展の2つのチェックポイントから実態分析を行い、そこからコンテンツツーリズムの課題である観光誘致効果の一過性を克服するための要素を明らかにすることが研究目的である。調査方法として、アニメ聖地巡礼者の誘客の詳細な実態を把握すべく関係資料の収集と高山市の地域住民にインタビュー調査を行った。結果として、①高山市におけるアニメ聖地巡礼者の誘客はO氏とN氏がリーダーとしての役割を担っており、積極的に誘客を推進していたこと、②高山市の地域住民に今まで町の取り入れてこなかった様々な活動を受け入れる意識変革が起きたことが分かった。また、高山市の事例では、地域リーダーが今までにない革新的な行動を起こすことで地域住民の意識変革が起こり、その後新たな地域リーダーが生まれるという正の循環が地域活性化におけるコンテンツツーリズムの課題である観光誘致効果の一過性を克服するための要素であることが明らかになった。

キーワード：コンテンツツーリズム、アニメ聖地巡礼、内発的発展論、地域活性化